

2023年度 第1回運用容量検討会 議事録

日 時：2023年5月15日（月）13：10～13：50

場 所：Web 開催

出席者：

- 守谷 直之（北海道電力ネットワーク株式会社 工務部系統運用グループリーダー）
- 宮崎 裕一（東北電力ネットワーク株式会社 電力システム部給電グループ課長）
- 福田 拓広（東京電力パワーグリッド株式会社 系統運用部系統運用計画グループマネージャー）
- 濱田 大善（中部電力パワーグリッド株式会社 系統運用部系統技術グループ課長）
- 清水 康広（北陸電力送配電株式会社 電力流通部系統運用・保護チーム統括課長）
- 吉田 貴之（関西電力送配電株式会社 系統運用部系統技術グループチーフマネージャー）
- 保田 創（中国電力ネットワーク株式会社 系統運用部系統技術グループマネージャー）
- 楠 俊成（四国電力送配電株式会社 系統運用部給電グループリーダー）
- 小杉 成史（九州電力送配電株式会社 系統技術本部電力品質グループ長）
- 下形 竜也（電源開発送変電ネットワーク株式会社 変電・系統技術部系統技術グループリーダー）

事務局

- 久保田 泰基（電力広域的運営推進機関 運用部長）
- 田治見 淳（電力広域的運営推進機関 運用部担当部長）
- 江郷 賢人（電力広域的運営推進機関 運用部マネージャー）
- 永吉 広樹（電力広域的運営推進機関 運用部）
- 菊池 紀隆（電力広域的運営推進機関 運用部）
- 太田 祐貴（電力広域的運営推進機関 運用部）

配布資料

- 1 連系線の運用容量算出における検討条件について（2024～2033年度）
- 2 連系線の運用容量算出における課題の検討について

議題1：連系線の運用容量算出における検討条件について（2024～2033年度）

事務局から資料1について説明を行った。主な議論は以下のとおり。

〔主な議論〕 ○検討会 ●事務局

- ：昨年5月末に公表したものからの主な変更点としては、2026年度に運用開始が予定されている中地域交流ループ運用を追加した。また2022年度に見直した運用容量算出方法として、「熱容量の適用期間細分化」の検討結果を反映した。

資料1は、業務規程第126条第1項の規定に基づき、5月末までに公表する。

議題2：連系線の運用容量算出における課題の検討について

事務局から資料2について説明を行った。主な議論は以下のとおり。

〔主な議論〕 ○検討会 ●事務局

- ：資料2のとおり、2023年度は検討を進めることとし、必要に応じて課題の追加や進め方の見直しを行うこととする。

以上